



埋立部	栈橋部
接続部	連誘部
環境	その他
工種名: 鋼管矢板切断撤去工	

鋼管矢板井筒護岸内部のコンクリート工などの施工が終わり、ついに鋼管矢板の切断・撤去工の施工が始まりました。ドライアップしていた井筒護岸内部を海水で満たしてから、鋼管矢板の切断・撤去を行います。今回は、井筒内部の注水、鋼管矢板の切断・撤去工について簡単に紹介します。

井筒内部注水

まず最初に井筒護岸内部に海水を注水します。井筒内部の注水は直径6インチ(約15cm)の水中ポンプを3台用いて3日間かけて行われました。左の写真は水中ポンプから注水している様子です。ポンプからは毎分7m³の海水が注水されます。



注水1日目



注水2日目



注水完了

鋼管矢板切断



注水完了後、順次、鋼管矢板の切断を行っていきます。ディスクカッターと呼ばれる装置を鋼管内に設置し、切断します。ただし、すでに栈橋部の基礎杭が打設してあり、起重機船の配置上、機械施工できない箇所については潜水士による人力切断となります。切断後、バイブロハンマーで矢板間の継ぎ手の縁を切断し、慎重にクレーンで台船に積み込みます。鋼管矢板の切断は9月中旬頃、完了予定です。その後は井筒上部の施工(渡り桁・伸縮装置の設置など)が行われます。